

Does Culture Matter?

Embeddedness, divergence and long term economic development

(抄訳：経済発展において文化はどこまで意味があるか)

世界トップの社会科学系大学であるロンドン・スクール・オブ・エコノミクスと一橋大学はさまざまな分野で協力連携を深めてきました。今年で3年目を迎える「一橋・LSEレクチャー・シリーズ」もそのひとつ。二つの大学の研究者、学生、同窓生が一堂に会し、社会科学での最前線の知を体験できるこの機会、今年は旭日中綬章を叙勲されたばかりの日本経済史の大家、ジャネット・ハンター教授が登壇されます。この機会をどうぞお見逃しなく。

講師

ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE)

経済史学部教授

ジャネット・ハンター

1976年、オックスフォード大学D.Phil。専門は近代日本経済史。1980年よりLSEで教鞭をとり、2003年に経済史学部教授に。2014年4月には英国における日本研究の発展および相互理解を促進した功績により、旭日中綬章を叙勲した。元英国日本学研究者協会会長。著書に『日本の工業化と女性労働』（有斐閣）、杉山伸也、ジャネット・ハンター編『日英交流史1600-2000〈4〉経済』（東京大学出版会）、パトリック・フリデンソン、橘川武郎編著『グローバル資本主義の中の渋沢栄一』（東洋経済新報社）など。



日時： 2014年**9月16日**（火） 18時～19時30分

場所： 一橋講堂 1階特別会議室（地下鉄東西線竹橋駅より徒歩4分）

主催： 一橋大学

- 講演は英語で行われます
- LSE・一橋大学レクチャー・シリーズは一橋大学とLSEの卒業生・教職員・在学生の方を対象としております。申し込み受付は先着80名様までです。9月10日(水)までにお申し込みください。

参加申し込みは右記URLからお願いいたします。 <https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/entries/add/916>

お問合せ：一橋大学・学務部国際課国際企画係 (Tel:042-580-8762, Email:int-gj.g@dm.hit-u.ac.jp)